

指定管理者の管理運営に関する評価シート
(評価対象期間：令和6年4月～令和7年3月)

施設名	久喜市立つばめクラブ他17クラブ	
施設所管課	こども育成課	
指定管理者(団体名)	一般社団法人久喜市学童保育運営協議会	
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	

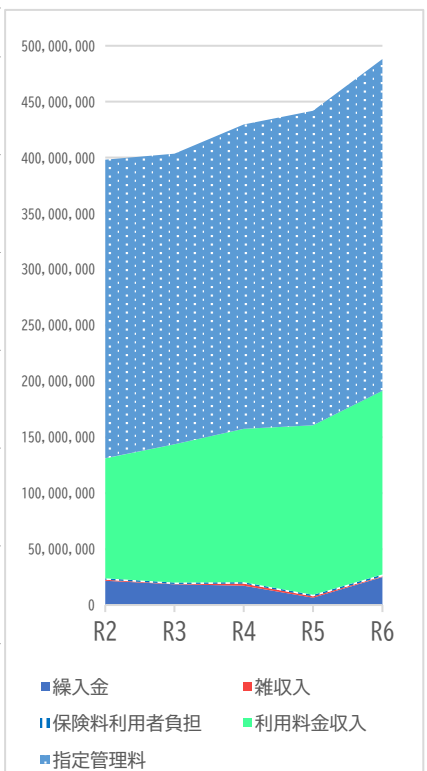
1 事業運営、利用状況				
指定管理者の行う事業内容	・ 放課後児童健全育成事業の実施 ・ 入室の承認及び承認の取消しに関すること ・ 保育料の徴収に関すること ・ 施設及び設備の維持管理に関すること			
事業計画に掲げた 主な事業の実施状況	☒ 事業計画に掲げた事業は全て実施した			
	☐ 事業計画に掲げた事業のうち、一部が実施できなかった			
	理由			
	主な実施事業、事業内容及び参加状況			
	事業名			参加者数
	レクゲーム（お楽しみ会）、誕生会			22,670
	本の読み聞かせ			2,660
	昼食（ケーキ）提供			5,804
	研修会参加			436
施設の利用状況		令和6年度	令和5年度	増減
	開館日数（日）	289	290	-1
	利用者数（人）	285,914	253,208	32,706
補足説明				

2 収支状況

(1) 収入状況(直近5カ年の決算)

単位：円

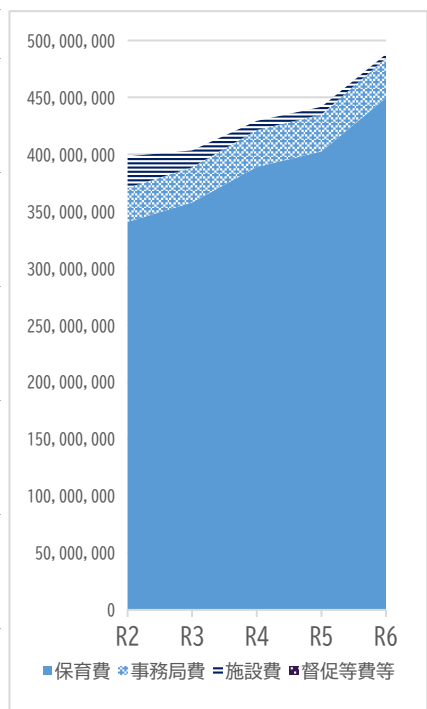
項目	R2	R3	R4	R5	R6
指定管理料	267,066,706	259,824,154	271,968,700	281,296,800	296,538,000
利用料金収入	107,302,600	123,668,368	137,138,700	151,499,400	164,382,100
保険料利用者負担	1,219,200	1,252,000	1,295,200	1,399,200	1,526,400
雑収入	1,146,810	433,687	1,880,264	1,230,241	713,265
繰入金	21,600,000	18,500,000	17,200,000	6,500,000	25,000,000
収入合計	398,335,316	403,678,209	429,482,864	441,925,641	488,159,765
補足説明	令和6年度はクラブ室の環境整備実施に係る歳出に充てるため、また、物価高騰による支出の増加や人件費の増加に伴い、一般正味財産を繰り入れた。				



(2) 支出状況(直近5カ年の決算)

単位：円

項目	R2	R3	R4	R5	R6
保育費	340,718,090	357,885,834	389,090,737	402,645,573	449,715,846
事務局費	29,901,720	30,796,160	32,175,904	32,451,110	34,909,535
施設費	27,661,107	14,926,396	8,024,644	6,733,164	3,409,476
督促等費等	0	840	3,360	9,240	8,706
支出合計	398,280,917	403,609,230	429,294,645	441,839,087	488,043,563
補足説明					
収支差額	54,399	68,979	188,219	86,554	116,202



3 管理運営

施設の運営業務	開館時間	月～金曜日:放課後～午後7時15分 土曜日:午前7時30分～午後6時30分 学校休業日:午前7時30分～午後7時15分	休館日	①日曜日、祝日 ②8月13日～8月16日 ③12月29日～1月3日
	管理体制	・「久喜市学童保育運営協議会が目指す放課後児童の生活の場」を掲げ、放課後児童の生活リズムを守ることを基本方針とし、「こどもの生活を保障すること（安心・安全感のある居場所）」、「こどもの生活を支援すること（こどもの生活を守る、遊びのある場）」、「保護者・学校との連携を図ること（保護者、学校との連携）」などを具体的に実践する中で、居心地の良い場所となるよう努めた。 ・支援員・補助員152名（常勤 64名 非常勤 88名） 【支援員・補助員体制】（1クラブあたり） - 平日：常勤 2人、非常勤 1～3人体制 - 土曜日：常勤 1人、非常勤 1～2人体制		
	職員研修	・「久喜市学童保育運営協議会が目指す放課後児童の生活の場」の一つである「放課後児童におやつを提供する保育」の中で、おやつはこどもにとって大きな楽しみであり、喜びである一方、年々アレルギー疾患のあるこどもも増加しており、おやつのお食物アレルギーへの綿密な対応を求められている。このことから、全職員を対象に外部の講師による食物アレルギーの基本的な理解、マニュアルを基に食物アレルギーのある児童への対応、エピペンの使い方等を学び、「安心感のある居場所」を目指した。 ・また、年度後期にさらにこどもの楽しみであるおやつの内容を充実させるため、管理栄養士による栄養面及び活力面から考えたおやつを提供、更に食物アレルギーの基礎知識を再確認した。 ・職員で構成された「研修委員会」による新任者のための研修、またレクゲームの研修に全員が参加し、「遊びのある居場所」の充実を図った。 ・リモート研修による埼玉県及び埼玉県学童保育連絡協議会等主催の研修に多くの者が参加し、支援員としての資質の向上が図られた。		
施設の維持管理業務	・例年通り保育室内外の安全管理及び衛生管理を徹底した。毎日の掃除や児童の手が触れる物等の消毒を行い、保育室の快適な環境を維持するとともに、保育室内外の遊具や備品を定期的に点検・確認することにより、安全な遊びの場の確保に努めた。			
指定管理者の提案による新規取組とその実施状況	企画提案内容			
	[補足] ・共働き世帯の増加に伴い、放課後児童クラブの利用者が増加している中で、利用者が安全で、安心して利用できる生活の場を提供するため、職員が新たな事業展開を研究していく場としてサービス向上委員会を設置し、利用者のサービス向上を図った。 ・職員不足が常態化している中で、保育以外の業務に充てている時間を縮小するべく、各クラブと事務局間でのネットワークシステムや勤怠システムの導入で業務体制の効率化を図った。			
	企画提案内容の実施状況			
	[補足] ・子育て等で悩んでいる保護者を少しでも支援できればと考え、保育相談会を実施した。 ・日々忙しい保護者の手助けとなるような試みとして夏休み期間中に昼食の手配を行った。			
	☐	企画提案内容が予定通り実施されている		
	☒	随意指定のため企画提案はない		
	☐	企画提案内容が予定通り実施されていない		
理由				

	今後実施予定の企画提案内容
	[補足] ・職員会議またはオンライン会議の実施 ・サービス向上委員会によるサービス向上のための業務の検討 ・職員配置の充実化、応援勤務体制と職員の育成支援 ・保育相談会の実施 ・夏季休業中児童の弁当の手配（期間中2回程度） ・クラブ内の環境整備（クラブ室内照明具のLED化、空調設備の定期的な清掃作業、老朽化した箇所の修繕）
利用者満足度向上への取り組み	・令和5年度に初めて試みた保育相談会を令和6年度は2回実施し、通常のお迎え時だけではお伝えできない児童の様子、友達関係等詳細をお伝えすることができた。 ・3月に開催した最後の共催保護者会において、児童の様子を伝えるのはもちろんのこと、児童の工作作品の展示、流行っている遊びや遊具の紹介、行事で撮った写真等を掲示した。また、簡単な工作をその場で行ったり、その日提供したおやつを試食していただいたり、和やかな雰囲気に参加者も増えた。

4 その他			
情報提供・広報活動に関する取り組み	・新年度（4月入所）の入所の募集について、こども育成課を通して市の広報・ホームページの掲載などを実施し、協議会ホームページでは利用申請書等についてダウンロードを可能とし、直接パソコンで入力できる環境を整えた。 ・保護者に対し、放課後児童クラブのしおりや資料を配布するなど情報提供に努めた。 ・協議会のホームページで協議会だより、各クラブだよりを発信することでペーパーレス化を進め、利用者等への利便性の向上に努めた。 ・TSメール（一斉メール配信サービス）の導入により、諸連絡について、保護者への情報伝達を迅速かつ確実なものとした。		
個人情報保護に関する取り組み	・管理運営業務上取り扱う個人情報については、一般社団法人久喜市学童保育運営協議会個人情報保護規程並びに久喜市個人情報保護条例及び規則に従い遵守している。 ・基本方針に基づき個人情報の適正な取り扱いを行うため、職員会議において、支援員、補助員、事務局職員が個人情報保護の重要性を認識し、情報を適正に管理し、その情報の共有化を図るとともに、職員の守秘義務の徹底に努めた。 ・情報セキュリティ管理委員会を設置すると共に、情報セキュリティポリシーの周知に努めた。		
危機管理に関する取り組み	・消防署と連携し、クラブ毎に年1回の避難訓練を実施したほか、単独で1回、通報訓練を実施し、児童の安全対策に努めた。 ・風水害時の避難訓練について、マニュアルに従い避難経路を確認し、児童の安全対策に努めた。 ・久喜市ハザードマップを基に施設の立地条件を確認し、クラブ毎に令和6年度非常災害対策計画を作成し、災害に備えた。 ・年2回防犯訓練を実施し、児童の安全対策に努めた。 ・防火管理者講習を支援員に受講させた。 ・全職員を対象に普通救命講習会をクラブ毎に実施し、緊急時等の迅速な対応ができるよう努めた。 ・支援員、補助員、事務局職員等の緊急連絡網を作成し、緊急時等の速やかな対応に備えた。 ・業務継続計画を作成し、危機管理に関する取り組みの強化を図った。 ・全職員を対象に危機管理に関する意識を高めるため、緊急時の対応を実技も含めて研修を実施した。 ・安全計画の中に盛り込んでいる危機管理に関するマニュアルを毎年見直し、緊急時に職員が迅速に対応できるよう備えた。		
市の監査状況	実施日	実施場所	監査結果
	令和7年3月21日	こども育成課	指導事項 特になし

5 総合評価

施設所管課の 一次評価	A ☐	事業計画等で掲げた水準等を上回り、かつ前年度実績を超える成果を達成し、優れた管理運営がなされている
	B ☒	事業計画等で定める業務が履行され、管理運営が適切になされている
	C ☐	事業計画等で定める水準等を一部が下回り、努力が必要である
	D ☐	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善を要する

施設所管課の判断理由

事業運営、利用状況については、事業計画に掲げた事業は全て実施し、全体を通して参加者数が増加しており、児童の健全育成に寄与した。

収支状況については、施設費を削減するなど、限られた収入の範囲内で効率的に事業運営を行っている。

管理運営状況については、全職員を対象とした外部講師による食物アレルギーに関する研修の実施、管理栄養士によるおやつの内容の充実のための研修を実施するなど、支援員の資質向上に努めている。

随意指定であるが、保育相談会の実施回数を増やすなど、児童や保護者に寄り添った企画提案を引き続き実施しており、利用者満足度向上の取組みが実施されていることなどから、B評価とした。

公の施設管理運営 検討委員会の 二次評価	A ☐	事業計画等で掲げた水準等を上回り、かつ前年度実績を超える成果を達成し、優れた管理運営がなされている
	B ☒	事業計画等で定める業務が履行され、管理運営が適切になされている
	C ☐	事業計画等で定める水準等を一部が下回り、努力が必要である
	D ☐	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善を要する

公の施設管理運営検討委員会の意見

- ・全職員を対象とした外部講師による食物アレルギーに関する研修の実施、管理栄養士によるおやつの内容の充実のための研修を実施するなど、支援員の資質向上に努めている。アレルギーによる事故が発生しないよう努められたい。
- ・施設費を削減するなど、限られた予算の範囲内で効率的に事業運営を行い、保護者や関係機関との連携に努めており、適切な管理運営がなされていると評価する。
- ・利用者（児童）数が増加する一方、支援員・補助員の確保が恒常的な課題となっている。保育現場にとって最優先すべきは「安全性の確保」であり、人員確保に尽力されたい。